



特別支援学校と小学校3年生の 交流及び共同学習」の計画・学習の進め方について

～国語「すてきなぼうしやさん」の劇をしよう」の学習を通して～

新潟県立小出特別支援学校 小山 光 関 理恵 田原 美紀



活動のねらい

大切になるのは…

小出特別支援学校

- 他校の児童と関わる楽しさを感じる。
- 普段と異なる環境でも混乱なく活動し、教科のねらいを達成する。

- 教師同士の打ち合わせ
 - ・年間計画の作成
 - ・児童の様子の情報共有
- つながりのある授業構成
 - ・教科での継続した活動
 - ・直接交流と間接交流
 - ・事前学習、事後学習

伊米ヶ崎小学校

- 特別支援学校の児童と一緒に学習する楽しさを感じる。
- 関わり方の工夫を考えながら、教科のねらいを達成する。

学習の進め方

①両校担任の打ち合わせ (年度始め)



ねらい

児童の実態

配慮事項

昨年度の活動

小学校担任による
小出特支学校見学

②第1回交流(6月)



小出特支での
普段の音楽・体育

両校が同じ内容
を事前に学習

③小出特支担任による 小学校での出前授業 (第1回交流の1週間後)



小出特支の学習や
工夫・支援の紹介

児童の疑問に
答える

どの教科で一緒に
学習したいか
問いかける

④両校担任の 打ち合わせ(随時)

今年度は国語に
挑戦できそう。



この内容・流れなら
一緒に作り上げて
いけるだろう。

⑤第2～5回交流(9月～11月)

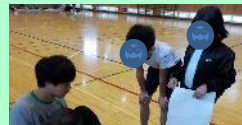
国語「すてきなぼうしやさん」の劇をしよう

(1) 配役決め・ 班ポスター制作



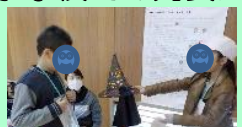
グループ顔合わせ

(2) 劇の練習①



全員参加で劇を作る

(3) 劇の練習② 小学校での発表会



伊米小4年生からの
アドバイス

(4) 特別支援学校 での発表会



⑥各校での活動

小出特別支援学校

- 劇の練習
- 事前学習・事後学習
- 職員同士の打ち合わせ

交流の意識付け、見通しをもつ

伊米ヶ崎小学校

- 劇の台本・役イラスト作り
- 感想・意識・個人の目標
と評価の明確化

特別支援
学校の行事
「ともだちランド」
遊具遊びを
通した関わり



成果と課題

- 児童の実態を基に打ち合わせを進め、初めて「国語」で実施し、教科のねらいを達成できた。
- 「運動広場」や「ともだちランド」など、ふれあう活動を通して交流をより深められた。
- △両校が、自校での教科の進め方や日程調整に難しさがあり、準備に負担がかかる部分があった。
児童も教師も無理なく交流に意識を向けられるように、計画や内容を調整できるとよい。